

国際ロータリー 第 2760 地区 西名古屋分区 2023-24 Intercity Meeting のご案内



世界に希望を生み出そう

「グローバリズムは世界に何をもたらしたか」 ～ロータリーとグローバルゼーション～

開催日時：2024年2月14日(水) 16:00 開会

会場：ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋

登録料：16,000円



RI 第 2760 地区
西名古屋分区ガバナー補佐
藤井 圓隆

日頃は、ロータリー活動にご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

皆様方の各ポジションにおける活動が世界に希望を生み出すために、最も有益であることは言うまでもありません。混沌とした世界情勢の中、さらなる飛躍を願って、今年も昨年に引き続き I.M. を開催させていただきます。今年の I.M. はポストコロナの日本経済の動向を占う富山和彦先生の御講演を中心に、ロータリアンが相集い、語り合う楽しい会合にしたいと思います。どうか皆様方の大勢の御参加を、心よりお待ち申し上げます。

〈テーマについて〉

21世紀に入ってからからのグローバリズムの台頭は、世界の人・物・情報などの動きを活発にし、経済や文化の発展を進めてくれた一方、経済格差、貧富の格差の拡大、移民問題等を引き起こしております。ロータリーの奉仕活動の基本は、超我の奉仕(忘己利他)です。より多くの人々が公平に安心して希望を持って生きていくために、今後どのような奉仕活動が必要となるでしょうか。この度、富山和彦氏をお迎えし、氏の持論のグローバリズムとローカリズムについての見識を披歴していただき、われわれの将来の奉仕活動にとって貴重な礎にできればと考えております。



I.M. 実行委員会委員長
萱垣 建

今年も、昨年に引き続き、I.M. が開催できる運びとなりました。

I.M. の目的は「会員相互の親睦と面談を広め、地域におけるロータリアン同志の研鑽の場である」と言われます。そして、酒井ガバナーの地区方針は、「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ!!」です。I.M. における他クラブとの交流、講演の拝聴などにより、よりロータリアン、ロータリーのことが認識でき、酒井ガバナーの方針が身近なものになると思います。

ロータリアンの皆様には、この趣旨をご理解いただき、令和6年2月14日のI.M. には是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。



富山和彦氏
経営共創基盤 IGPI グループ会長
日本共創プラットフォーム (JPiX)
代表取締役社長

講演 「日本経済再興 ～GとLの経済再生戦略～」

〈略歴〉

1960年生まれ。東京大学法学部卒。スタンフォード大学経営学修士(MBA)。ポストンコンサルティンググループなどを経て、2003年産業再生機構のCOOに就任し、カネボウなどを再生。機構解散後、2007年経営共創基盤(IGPI)を設立し代表取締役CEO就任。2020年10月よりIGPIグループ会長。2020年12月日本共創プラットフォーム(JPiX)を設立し代表取締役社長就任。経済同友会政策審議会委員長、日本取締役協会会長、その他政府関連委員多数。

主著に『コーポレート・トランスフォーメーション 日本の会社をつくり変える』『コロナショック・サバイバル 日本経済復興計画』『不連続な変化の時代』を生き抜くリーダーの「挫折力』『なぜローカル経済から日本は甦るのかGとLの経済成長戦略』他。



※写真はイメージです。

OSK 日本歌劇団

OSK 日本歌劇団は、1922(大正11)年に松竹楽劇部として大阪に誕生し、2022年に創立100周年を迎えまし

た。大正、昭和、平成、令和という激動の時代を通じ、世界でも稀有な「少女歌劇」文化を継承する団体として人気を博してきました。1926(大正15)年に始まる「春のおどり」は、大阪の春の風物詩として広く親しまれているほか、様々な地域で多彩なジャンルの作品を上演しております。また、現在放送中のNHK連続テレビ小説「プギウギ」は、OSK出身の笠置シズ子モデルに於いて、現役劇団員の翼和希が橘アオイ役として出演しております。

プログラム

15:00 受付開始

16:00 I.M. 開会

点鐘・国歌斉唱・ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

特別出席者紹介

歓迎のことば 藤井圓隆ガバナー補佐

ガバナーあいさつ 酒井法丈ガバナー

次年度ガバナー補佐あいさつ

次年度 I.M. ホストクラブあいさつ

16:30 講演：富山和彦氏

18:00 懇親会

アトラクション：OSK 日本歌劇団

19:15 閉会

Rotary
District 2760



【ホストクラブ】名古屋名駅ロータリークラブ

TEL : 052 (433) 8160

meiekirc@f5.dion.ne.jp

I.M. 実行委員会委員長 萱垣 建